

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

メタクリル酸グリシジルのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

6 B 6 9 9 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： メタクリル酸グリシジル
- 2) 暴露方式： 半止水式
(暴露開始9日後までは週に3回、9日後以降は2日毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度(設定値)： 対照区, 0.50, 1.50, 3.50, 9.50, 25.0 mg/L (公比 2.7)
- 6) 試験液量： 800 mL
- 7) 連数： 4 容器/濃度区
- 8) 供試生物数： 40頭/濃度区 (1 連に付き10頭で1 濃度区40頭)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 被験物質の分析： GC 法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

暴露期間中に測定した試験液の換水前の被験物質濃度が、設定値の±20%を越えたため、各影響濃度の算出には実測値（時間加重平均値）を採用した。

2) 21 日間の親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :

5.46 mg/L (95%信頼限界 : 4.55~6.65 mg/L)

3) 21 日間の 50% 繁殖阻害濃度 (ErC50) :

3.18 mg/L (95%信頼限界 : 2.44~6.91 mg/L)

4) 21 日間の最大無作用濃度 (NOECr) : 1.02 mg/L

5) 21 日間の最小作用濃度 (LOECr) : 2.44 mg/L